

Slow
Mist

SLOWMIST

概要資料

EXPLANATORY MATERIAL

BIG NEWS!

世界最大の取引所“バイナンス”のセキュリティも担当したセキュリティ監査企業が KAWARA版が推奨する“超優良コイン”の安全性を証明！

現在、10万人突破記念キャンペーンで紹介している“超優良コイン”が
中国に拠点を置き、仮想通貨のセキュリティ分野において数々の実績を残す
“SlowMist社のセキュリティ審査”に通過しました。

これによって、超優良コインの安全性が証明されたこととなります。

暗号通貨という新しい技術において
「セキュリティの安全性」という項目は絶対必要条件。

投資家は、投資をするか否かを推し量る上で、
取引所においても上場を判断する上で重要な要素の一つです。

つまり、今回のSlowMist社のセキュリティ審査の通過で
超優良コインの安全性・信頼性が証明されたことにより

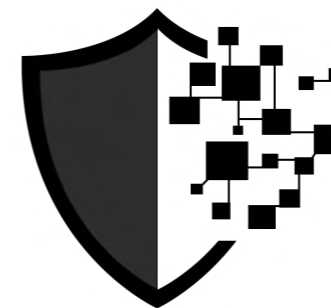
**世界有数の取引所への上場が確固たるものになったと同時に
多くの投資家からの資金流入に繋がること間違いなしです！**



仮想通貨市場のセキュリティ監査の重役を担う

SlowMist

(スローミスト)



慢霧科技
slow mist

仮想通貨のセキュリティ分野においてトップクラスの権威を持つ企業

SlowMist社は2018年に中国で設立された**仮想通貨のセキュリティ・監査企業**です。

ブロックチェーンのエコシステム (※) セキュリティに重点を置いた企業で
暗号通貨やスマートコントラクトの総合的なセキュリティを
あらゆる取引所や暗号通貨プロジェクトに提案しています。

(※) ブロックチェーンで新たに創り出される仮想通貨によって成り立つ社会・経済・仕組みなどのこと。

チームメンバーにはGoogleやMicrosoftなどの大企業の出身のメンバーで構成され
過去には世界最大の取引所バイナンスにも、**セキュリティ面の構築を任されています。**

仮想通貨市場のセキュリティ分野においては右に出る企業はない企業と言えるでしょう。

SlowMist Member

Google、Microsoft、W3C、テンセント、
中華人民共和国公安部、アリババ、バイドゥ（百済）などの

大手IT企業出身の経歴を持つ超エリート集団！

Google

Microsoft

Alibaba.com™



W3C®

Tencent

Baidu 百度

最先端のサイバーセキュリティ分野において、
10年以上もの実務経験がある世界トップレベルの実力を持つチーム

過去に暗号通貨市場で名の知れる取引所の セキュリティ監査を担当！

BINANCE (バイナンス)



世界取引所ランキング1位

OKEX (オーケーエックス)



世界取引所ランキング2位

Huobi (フォビ)



世界取引所ランキング5位

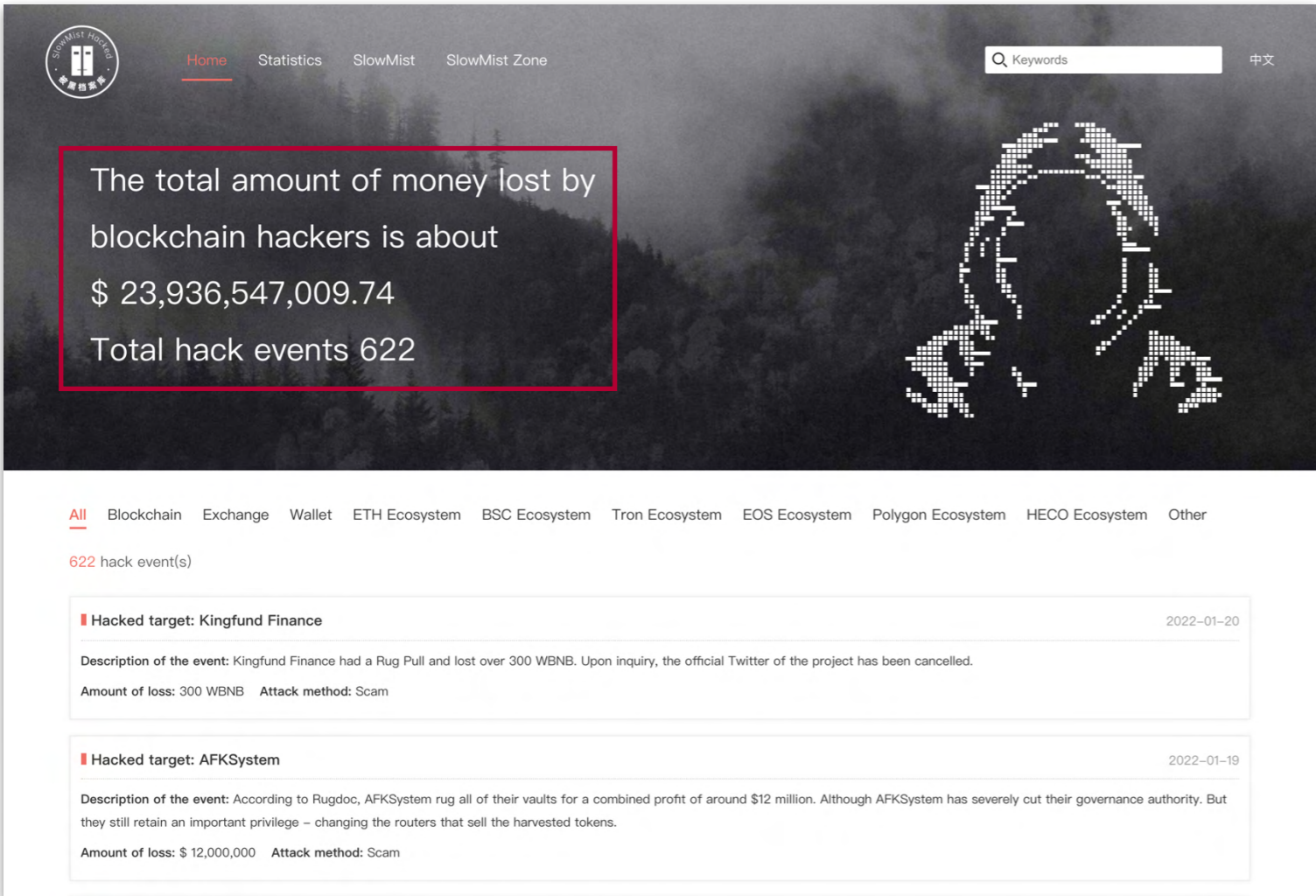
(暗号通貨のデータ収集サイト「CoinGecko」の1月28日時点のデータを参照)

世界トップクラスの取引所が絶大な信頼を置く実績アリ！

SlowMist Achievement

現在も毎日のように取引所やコインホルダーにハッキングに関する注意喚起を行い

総額約2兆7,000億円のハッキング被害を発見。



The screenshot shows the SlowMist website interface. At the top, there is a navigation bar with 'Home', 'Statistics', 'SlowMist', and 'SlowMist Zone'. A search bar with 'Keywords' and a language selector '中文' is also present. The main content area features a large graphic of a hand holding a globe, with a red box highlighting the following text: 'The total amount of money lost by blockchain hackers is about \$ 23,936,547,009.74 Total hack events 622'. Below this, there is a list of hack events with filters for 'All', 'Blockchain', 'Exchange', 'Wallet', 'ETH Ecosystem', 'BSC Ecosystem', 'Tron Ecosystem', 'EOS Ecosystem', 'Polygon Ecosystem', 'HECO Ecosystem', and 'Other'. Two specific events are listed: 'Hacked target: Kingfund Finance' (2022-01-20) and 'Hacked target: AFKSystem' (2022-01-19).

The total amount of money lost by blockchain hackers is about \$ 23,936,547,009.74
Total hack events 622

The total amount of money lost by blockchain hackers is about \$ 23,936,547,009.74
Total hack events 622

▼

ブロックチェーンハッカーによって失われた合計金額は約23,936,547,009.74ドルで合計ハッキング数は622件である

仮想通貨市場のセキュリティ分野の監査役として大きな影響力を発揮！

▼次ページで代表的な解決事例をご紹介します▼

ロシア・中国の大手仮想通貨取引所から約17万枚が流出した “イーサリアム・クラシック51%攻撃事件”

2019年1月6日、イーサリアムから分裂したイーサリアム・クラシックが「51%攻撃」というハッキングに遭い、

ロシアと中国の大手取引所から、総額17万枚のイーサリアム・クラシックが流出する事件が勃発。

そして、イーサリアム・クラシックの開発者たちが助けを求めたのが、SlowMist社です。

SlowMist社は事件発生当初から、開発者とともに解決に向け調査を重ね、被害総額の約4分の1の追跡に成功しています。

その後、関与するウォレットアドレス等を公開するなどして各所に調査への協力と攻撃への警戒を促し、

その結果、ハッカーから全てのイーサリアムクラシックを取り戻すことに成功しています。

仮想通貨（暗号資産）ニュース

Ethereum Classic 51%攻撃事件、流出額4分の1の行方をSlowMist社が追跡し経過報告

大手仮想通貨交換所Binance・Bitrueにて換金試みの形跡、一部の出金は水際で阻止

日下 弘樹 2019年1月10日 12:28

ツイート リスト BI 1 Pocket 4 いいね! 10 シェア

中国のブロックチェーンセキュリティ企業SlowMistは1月10日、Ethereum Classic (ETC) で発生した51%攻撃に関する調査の途中経過を発表した。同社は1月6日、ETCへの51%攻撃を検知し、その翌日にEthereum Classic開発者と米Coinbase社へ警告。その後も調査に協力していた。調べによると、Coinbase社の報告した被害総額21万9500ETCの内、約4分の1にあたる5万4200ETCの行方が明らかになったという。

SlowMist社は、Coinbase社が報告した12件の二重支払いの内、7件の追跡を完了。その経過と利用されたウォレット等の情報を開示した。本件で流出の可能性があると思われる総額21万9500ETCの内、約4分の1にあたる5万4200ETCの行方が明らかとなった。攻撃者は大手仮想通貨交換所であるBinance、Bitrueのウォレットを介して通貨の持ち出しを試みた形跡があるという。

標的とされたBitrueは2回にわたって合計1万3000ETCに及ぶ異常な出金要請があったことを報告。同社の提携するブロックチェーンセキュリティAnChain社と協力の下、二重支払いを早期に検出し同交換所からのETC流出を阻止したことを発表している。Binanceは本件に関する情報を未発表だが、攻撃者が得た4万600ETC以上が同交換所下のウォレットへ入金されたことが明らかとなっている。



AnChain.AI
@AnChainAI

AnChain.AI is proud to partner with @BitrueOfficial to secure the blockchain ecosystem! Bitrue also prioritized security and prevented the recent \$ETC 51% attack from damaging their trading platform!

bit.ly/2H1xJbi

#AnChainAI #Bitrue #Crypto #Security

午前1:12 · 2019年1月10日

9 返信 リンクをコピー

Twitterでいま起きていることを見ましょう

流失総額660億円の史上最大のハッキング案件である “Poly Network ハッキング事件”

2021年8月11日、分散型金融プラットフォーム（DeFi）の「Poly Network」で、史上最大のハッキング事件が発生しました。

その流出額は過去最高被害総額となる約660億円で、暗号通貨史上全体に激震が走った大規模なハッキング事件だったのですが…

この史上最大のハッキング事件で、一際精彩を放つ活躍ぶりを見せていたのがSlowMist社です。

SlowMist社は、事件発覚直後にハッキング情報の追跡を開始。

追跡後すぐに、ハッキングに使用されたウォレットアドレス、ハッカーのメールボックス、IPアドレスなどの重要な手がかりとなる情報を特定しました。

これがキッカケとなり、ハッカーから資金の返還が行われるとともに、事件の解決へと導きました。

TURNER WRIGHT 2021年08月11日 / 17:20

分散型金融（DeFi）で仮想通貨6億ドルが不正流出か

1787 閲覧数 70 シェア数



分散型金融（DeFi）で最大の攻撃となる可能性がある事件が起こった。ハッカーがクロスチェーンプロトコルのPolyネットワークを悪用して、3つのチェーンから少なくとも6億ドル相当の仮想通貨を奪ったという。

PolyネットワークのTwitterの投稿によると、この攻撃によってパイナンスチェーン、イーサリアム、ポリゴンネットワークから仮想通貨が奪われた。ハッカーがイーサリアムから約2億7300万ドル、ポリゴンネットワークから8500万ドル、パイナンスチェーンから2億5300万ドル盗まれたという。

中国のサイバーセキュリティ企業SlowMistは、このハッキングの情報を追跡している。SlowMistによれば、ハッカーの最初の資金源はモネロ（XMR）であり、それがパイナンスコイン（BNB）やイーサリアム（ETH）、MATICに交換されたという。

SlowMistはこの攻撃が「長期的に計画され、組織化され、準備された攻撃である可能性が高い」と述べている。

超優良コインがSlowMistのセキュリティ審査に通過したことで… 世界有数の取引所への上場がより確固たるものに！

これまでSlowMistの数々の実績をご紹介してきましたが…

超優良コインもこのSlowMistのセキュリティ審査に通過済みであり
無事「コインの安全性」が保証されたこととなります。

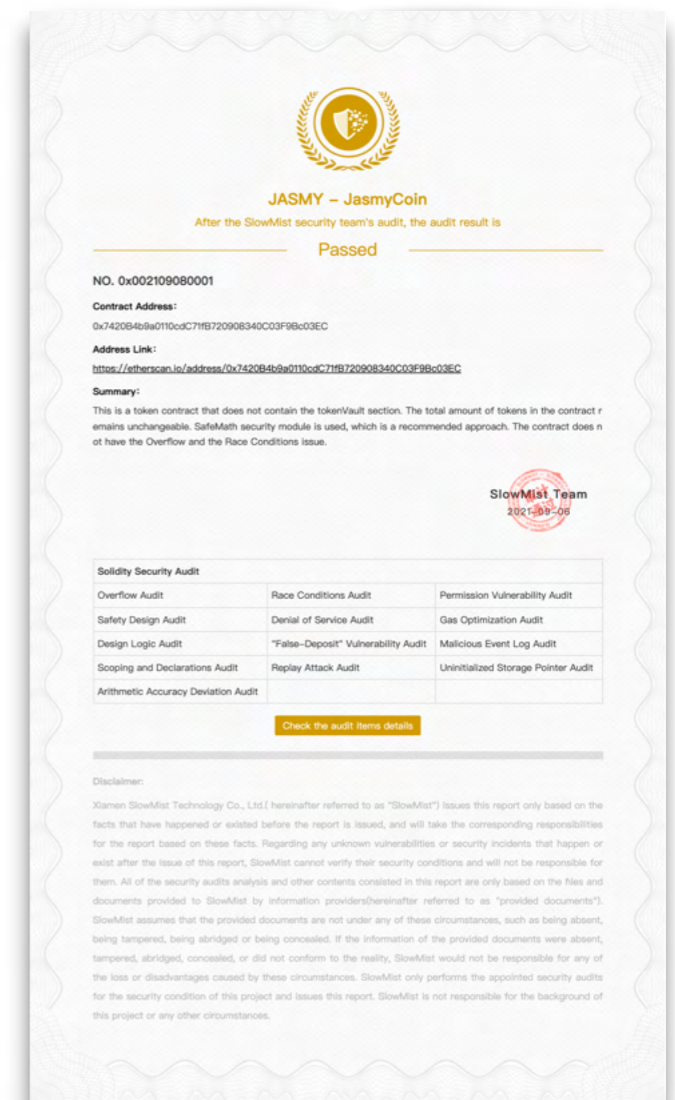
そして、審査に通ると右図のような「審査通過証明書」が発行され
超優良コインは今、この証明書の発行待ち状態です。

(※右図の証明書は同じくSlowMistの審査に通過したジャスミーコインの証明書を引用)

この証明書は取引所の審査において、絶大な信頼性を持っており
超優良コインは数々の世界有数の取引所への上場を予定していますが…

“その全ての取引所への上場が確固たるものになった”

と言っても過言ではありません。



※イメージ
(ジャスミーコインの証明書)

あらゆる仮想通貨メディアで超優良コインの名の横に「SlowMist」の文字 超優良コインへの大型資金流入も、もう間近！？

さらには、SlowMist効果はそれだけではありません。

SlowMistのセキュリティ審査に通過すると証明書の発行だけでなく、あらゆる仮想通貨メディアでその証明が掲載されるようになります。

右図のように仮想通貨メディアのコインの「監査」の欄にSlowMistの名前が記載されるようになります。

(超優良コインのページには証明書発行と共に掲載される予定です)

※ジャスミーコインの例



そして、この効果によって、慎重派の大口投資家がより一層超優良コインに目を光らすことになり資金流入も加速することでしょう。

いよいよ、世界有数の取引所への上場ラッシュ、青天井の超優良コインの価格高騰がスタートします。

ぜひ超優良コインの壮大で明るい未来に、乞うご期待ください。

超優良コインの詳細を無料公開中!

KAWARA版が仮想通貨市場の無数のコインの中から見つけ出した

数十倍の価格高騰が見込める

“超優良コイン”

の詳細を確認してあなたも“仮想通貨長者”を目指してみませんか？

▶ **超優良コインの詳細を確認する**

(注意)

投資の“KAWARA”版.c o mは当コインにおいて代理店などの営利目的での活動は行っておらず、当コインの情報を会員様へお伝えすることによる投資の“KAWARA”版.c o mへの利益は1円もありません。